

令和3年度 第3回 可美中学校運営協議会 議事録

- 1 開催日時 2021年12月15日(水) 13:30~15:00
- 2 場 所 可美中学校 会議室
- 3 出席委員 竹内良昭 鵜飼愛子 岡本眞理(コーディネーター)
(敬称略) 金原元康 中村裕康 中村淳子 小野田和弘 小野田康弘 和田剛 小山智美
(校長:北村健治 教頭:中村真由美 学校担当:山田真史)

傍聴者氏名 市教委教育総務課:鈴木陽子

- 4 学校より
- 5 議長の選出 竹内良昭
- 6 熟議

- ① 3年生の受検前面接練習の面接官選出について
- ② 瀧川鯉昇さん講演会について
- ③ 学習支援について
- ④ 地域クラブについて
- ⑤ ひまわり学級栽培体験経過報告
- ⑥ その他

- ① 3年生の受検前面接練習の面接官選出について

3年主任 私立、公立の2回にわたり面談をお願いしたい

推薦者より、あらたな面接官について紹介

山田より、面接練習の方法について説明

和弘さん 昨年度の反省を生かし、事前の挨拶はなしでスタートさせたい。

本番と同じような形で、生徒に緊張感を持たせたい。練習終了後に挨拶をする。練習形態は子供たち優先で考えてほしい。

- ② 瀧川鯉昇さん講演会について

岡本さんより、講師決定に至る説明

教頭より、当日の講演会の実施方法について説明

山田 CS委員の皆様に来ていただきたい。通知は年明けに郵送

和田さん 講演会について、生徒に伝えるのはいつか?

校長 年明けに生徒に伝える。講演会前にキャンペーンを行いたい。

岡本さん コロナ禍でなければ、地域にPRもして、多くの方に聞いていただきたい。

和弘さん PTA役員の方にも伝えた方がいい。

鵜飼さん コロナが終息すれば可美公園総合センターを借りて、行うという方法もある。

和弘さんより、瀧川さんが落語を披露する場として使用している地藏院さんの紹介

- ② 学習支援について

校長より提案。1~2年かけて準備をしたい。

康弘さん 長野県佐久の地域と一体となっている小中一貫校に視察をした。そこは学習支援も行ってた。浜松では、募集方法、運営方法については模索中である。

鈴木さん 浜松市では、夏休みに教員の補助に入る形で学習支援を行っている中学があ

る。地域の方だけ学習支援を行う事例は小学校に見られる。

鵜飼さん 学習支援を考えたきっかけは学童に子供が通うお母さんから相談を受けたことである。特に人員確保が課題。また、カリキュラムもあるとやりやすい。

淳子さん いろいろな事例はあるが、「やる人、場所、資金」の準備が必要。

鵜飼さん 子供の居場所づくりをしたい。システムができれば、地区社協や市の社協からのサポートしてもらえるのではないかと。最初のきっかけをどうするかをチームで考えたい。

岡本さん 心の相談員をしていた時、子供からの提案で様々な活動を行ったことがある。継続は難しかったが、場所を学校から協働センターに変えて活動できたこともある。学校の空き教室を使い、何か活動できないだろうか。

裕康さん 対象者をどうするかも課題。

岡本さん 学習支援でなくても、居場所を作ればどうか。

校長 学習支援といってもアプローチの仕方がたくさんある。寺子屋のようなスタイルだけでなく、授業に入りサポートすることも支援の1つだと考える。継続して審議をお願いしたい。

④ 地域クラブについて

校長より提案

鵜飼さん 可美には剣道とサッカーがあるはず。

小山さん 可美サッカークラブがある。自由制。中学の部活にも参加しながらサッカークラブに参加。

和田さん 活動場所が中学校になったことをきっかけに中学生も参加。

和弘さん 指導者の問題があるはず。

校長 地域には指導者がたくさんいる。指導者や場所が整っているから子供を育てるために何とかしたい。こちらも引き続き審議をお願いしたい。

和田さん 学校のカリキュラムの中に、学習支援も含めて、地域の方にヘルプに入っただけでなく、ハードルが下がれば、その土壌ができると思う。

鵜飼さん 仕組みを作ればできるはず。

校長 まずは抵抗感がないところから始めるのがいい。

竹内さん 行政のヘルプも必要。

康弘さん 今後、区の再編とともに、協働センターが地域の活動に入りこむ仕組みを作っている。

⑤ ひまわり学級栽培体験経過報告

山田 12月3日にひまわりショップで販売できた。栽培がうまくできるものがあればアドバイスをいただきたい。

康弘さん 体験の様子を見たが、生徒が意欲的に活動していた姿が印象的

⑥ その他

岡本さん 面接官の候補がたくさんいると有難い

竹内さん 面接官等の人材について、協働センターに声をかけることも一つ